

がんと仕事に関する意識調査（がん経験者以外）

このアンケートは、「がんと診断されたことがない方」を対象としています。

-
- ・このアンケートは、がんと仕事に関する意識の現状や課題を明らかにすることにより、がんと仕事に関する不安や悩みを軽減することを目的として実施するものです。
 - ・このアンケートでは、身近な「がん経験者」（治療前、治療中、治療後にかかわらず、がんと診断されたことがある方）のことについてお伺いします。そのため、がんと診断されたことがない方でも、身近な方のがん経験の記憶がよみがえるなどにより、精神的なストレスを感じる方もいらっしゃる可能性があります。
 - ・回答がづらいと感じた設問には、答える必要はありません。もし回答がづらいと感じた場合には、ご自身の判断により途中で中止していただいて結構です。
 - ・本調査は一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所と、法政大学 松浦民恵教授が共同研究として実施します。
 - ・回答データは調査の実施主体のみで共有し、厳正な管理のもとで分析させていただきます。皆さまからの回答は、すべて統計的に処理し、個人が特定されることはありません。
 - ・調査結果は、アンコンシャスバイアス研究所のHP等で、2022年夏に公開予定です。
 - ・回答所要時間は＜約10分＞です。ぜひ、ご協力をお願いいたします。
-

Q1. (1)これまで身近（以下の中、亡くなられた方も含む）にがん経験者はいらっしゃいましたか。
 また、(2)そのうち、がんと診断された当時、働いていた方をお選びください。（それぞれあてはまるもの全てにチェック）

	(1) これまで身近にいたがん経験者		(2)そのうち、がんと診断された当時、働いていた方	
配偶者・パートナー	1	→(2)へ	1	→Q2へ
自分の子ども	2		2	
自分の親	3		3	
配偶者・パートナーの親	4		4	
兄弟姉妹	5		5	
配偶者・パートナーの兄弟姉妹	6		6	
上記以外の親族・親戚	7		7	
友人・知人	8		8	
勤務先の上司	9		9	
勤務先の同僚	10		10	
勤務先の部下	11		11	
上司・同僚・部下以外の勤務先の人	12		12	
自分（医療従事者）の患者	13		13	
自分（ピアサポーター等）が支援している相手	14		14	
その他	15		15	
いない	16	→Q5へ	16	→Q3へ

Q2. 【Q1(2)で「1」～「15」を回答した方にお伺いします。】

Q1の(2)で選んだ方々（身近ながん経験者で、がんと診断された当時働いていた方々）から、がんと診断されたことについて、報告や相談を受けたことがある方をお選びください。複数の方々から報告や相談を受けたことがある場合は、初めて報告や相談を受けた方を1人思い出してお選びください。

1. 配偶者・パートナー
2. 自分の子ども
3. 自分の親
4. 配偶者・パートナーの親
5. 兄弟姉妹
6. 配偶者・パートナーの兄弟姉妹
7. 上記以外の親族・親戚
8. 友人・知人
9. 勤務先の上司
10. 勤務先の同僚
11. 勤務先の部下
12. 上司・同僚・部下以外の勤務先の人
13. 自分（医療従事者）の患者
14. 自分（ピアサポーター等）が支援している相手

15. その他 ()

16. 報告や相談を受けたことがない→Q3へ

SQ2-1. 【Q1(2)で「1」～「15」と回答し、かつQ2で「1」～「15」と回答した方にお伺いします。】

その方から報告や相談を受けたのは、いつ頃のことですか。

西暦 年

SQ2-2 a. 【Q1(2)で「1」～「15」と回答し、かつQ2で「1」～「15」と回答した方にお伺いします。】 その方の性別をお選びください。

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 答えたくない

SQ2-2 b. 【Q1(2)で「1」～「15」と回答し、かつQ2で「1」～「15」と回答した方にお伺いします。】 その方の当時の年齢をお選びください。

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60歳以上
7. わからない

SQ2-3 a. 【Q1(2)で「1」～「15」と回答し、かつQ2で「1」～「15」と回答した方にお伺いします。】 その方の当時の就業形態をお選びください。

1. 正社員（役員を含む）・正職員
2. 契約社員
3. 嘱託社員
4. 派遣社員
5. パート・アルバイト
6. 自営・個人事業主
7. その他 ()
8. わからない

SQ2-3 a. 【Q1(2)で「1」～「15」と回答し、かつQ2で「1」～「15」と回答した方にお伺いします。】 その方から報告や相談を受けた当時の、あなたの就業形態をお選びください。

1. 正社員（役員を含む）・正職員
2. 契約社員
3. 嘱託社員
4. 派遣社員
5. パート・アルバイト
6. 自営・個人事業主
7. その他（ ）
8. 働いていなかった

SQ2-4. 【Q1(2)で「1」～「15」と回答し、かつQ2で「1」～「15」と回答した方にお伺いします。】その方の当時のがんの病状について、該当するものをお選びください。

1. かなり進行してい（るようだっ）た
2. 進行してい（るようだっ）た
3. 早期（のよう）だった
4. かなり早期（のよう）だった
5. わからない
6. 答えたくない

SQ2-5. 【Q1(2)で「1」～「15」と回答し、かつQ2で「1」～「15」と回答した方にお伺いします。】報告や相談に対するあなたの言動が、その方の仕事についての意思決定に、何らかの影響を与えたと思いますか？

1. そう思う
2. どちらかというと思う
3. どちらともいえない
4. どちらかというと思わない
5. そう思わない

SQ2-6. 【Q1(2)で「1」～「15」と回答し、かつQ2で「1」～「15」と回答した方にお伺いします。】がんについて報告や相談を受けた時、その方に対してどのように思いましたか？該当するものをお選びください。（あてはまるもの全てにチェック）

1. 罹患前のような生活に戻れなくなるかもしれない
2. 楽しいことや新しい挑戦ができなくなるかもしれない
3. 罹患前のように働けなくなるかもしれない
4. 治療費や生活費に困るかもしれない
5. 治療や副作用がこわい、大変そう
6. 再発・転移がこわい、大変そう
7. 家族がショックを受けるだろう
8. 職場に居づらくなるかもしれない

9. 友人が離れていってしまうかもしれない
10. もう一生治らないかもしれない
11. あと何年も生きられないかもしれない
12. その他 ()
13. 特に何も思わなかった →SQ2-8へ

SQ2-7. 【SQ2-6で「1」～「12」と回答した方にお伺いします。】

その方からがんについて報告や相談を受けた時、SQ2-6のように思ったのはなぜだと思いますか？
(あてはまるもの全てにチェック)

1. がんをテーマとした映画・ドラマ・ドキュメンタリーで見聞きしたことから
2. 有名人のがんに関するニュースや発信から
3. がんに関するテレビや新聞・雑誌の情報から
4. 闘病ブログなどの個人SNSの情報から
5. がんに関する専門的な文献や記事から
6. 上記以外のインターネット検索から
7. 身近な人のがん経験から
8. 担当医の言動から
9. 自身や身近な人の医療従事者としての経験から
10. 周囲の人の言動から
11. なんとなく
12. その他 ()

SQ2-8. 【Q1(2)で「1」～「15」と回答し、かつQ2で「1」～「15」と回答した方にお伺いします。】(1)その方からがんについて報告や相談を受けて、がんや仕事との両立に関する情報を収集しましたか。また、(2)その中でがんについて理解したり、仕事と治療の両立を考えるにあたって、特に有益だったものをお選びください。(それぞれあてはまるもの全てにチェック)

	(1)がんについて報告や相談を受けてから収集した情報	(2)そのうち特に有益だったもの
1. がんをテーマとした映画・ドラマ・ドキュメンタリー	1	1
2.		
3. 有名人のがんに関するニュースや発信	2	2
4. がんに関するテレビや新聞・雑誌の情報	3	3
5. 闘病ブログなどの個人SNS	4	4
6. 国立がん研究センターのがん情報サービス	5	5
7. 病院のホームページ等からの情報	6	6
8. がんに関する専門的な文献や記事	7	7
9. 患者会からの情報	8	8
10. 学会からの情報	9	9

11. キャンサーネットジャパンからの情報	10	10
12. 上記以外のインターネット検索	11	11
13. 担当医からの助言	12	12
14. 担当医以外の医師からの助言（セカンドオピニオン等）	13	13
15. 医師以外の医療分野の専門家（がん相談支援センターの相談員・医療ソーシャルワーカー・看護師・薬剤師等）からの助言	14	14
16. 医療分野以外の専門家（就労支援・生活設計等）の助言	15	15
17. がん経験者やがんのピアサポーターからの助言	16	16
18. 家族の助言	17	17
19. 友人・知人の助言	18	18
20. 勤務先の上司の助言	19	19
21. 勤務先の同僚や部下の助言	20	20
22. 勤務先の人事からの情報・助言	21	21
23. 勤務先の産業医療スタッフ（産業医等）からの情報・助言	22	22
24. 勤務先の相談窓口（健康保険組合を含む）の助言	23	23
25. 日々の医療情報（自身や身近な人が医療従事者）	24	24
26. その他	25	25
27. 該当なし	26	26

SQ2-9. 【Q1(2)で「1」～「15」と回答し、かつQ2で「1」～「15」と回答した方にお伺いします。】あなたは、その方に対して、どんな配慮をしましたか。具体的に教えてください。（あてはまるもの全てにチェック）

1. 無理をせず、治療に専念するようにと伝えた
2. 仕事を手伝った
3. 仕事以外でサポートをした
4. 負担がかかることをお願いしないようにした
5. 体調を気遣うようにした
6. 体調のことをなるべくきかないようにした
7. イベントや飲み会には誘わないようにした
8. 楽しい話はしないようにした
9. 未来の話はしないようにした
10. 自分の愚痴はいわないようにした
11. なるべく普段どおり接するようにした
12. その他（ ）
13. 特に配慮はしなかった→SQ2-11へ

SQ2-10. 【SQ2-9で「1」～「12」と回答した方にお伺いします。】

あなたはこれらの配慮を行うにあたって、事前にその方ご本人の意向を確認しましたか？

1. 確認した
2. さりげなく確認した

Q4. 【Q1(1)で「16」と回答した以外の方にお伺いします。】※Q1(1)で「16」と回答した方はQ5へ
身近にがん経験者がいたことで、あなたの「がんの治療と仕事の両立」に対するイメージはどのように変わりましたか？

1. ポジティブに変化
2. どちらかというポジティブに変化
3. どちらともいえない
4. どちらかというネガティブに変化
5. ネガティブに変化
6. 特に変化しなかった
7. 答えたくない

Q5. 現在、もしも身近な人から、がんと診断されたことについて報告や相談を受けたとしたら、どのようなことを思い浮かべますか？該当するものをお選びください。(あてはまるもの全てにチェック)

1. 罹患前のような生活に戻れなくなるかもしれない
2. 楽しいことや新しい挑戦ができなくなるかもしれない
3. 罹患前のように働けなくなるかもしれない
4. 治療費や生活費に困るかもしれない
5. 治療や副作用がこわい、大変そう
6. 再発・転移がこわい、大変そう
7. 家族がショックを受けるだろう
8. 職場に居づらくなるかもしれない
9. 友人が離れていってしまうかもしれない
10. もう一生治らないかもしれない
11. あと何年も生きられないかもしれない
12. その他 ()
13. 特に何も思い浮かばない→Q6へ
14. 答えたくない →Q6へ

SQ5-1. 【Q5で「1」～「12」と回答した方にお伺いします】

現在、もしも身近な人から、がんの罹患について報告や相談をされた場合に、Q5のように思うのはなぜだと思いますか？(あてはまるもの全てにチェック)

1. がんをテーマとした映画・ドラマ・ドキュメンタリーで見聞きしたことから
2. 有名人のがんに関するニュースや発信から
3. がんに関するテレビや新聞・雑誌の情報から
4. 闘病ブログなどの個人SNSの情報から
5. がんに関する専門的な文献や記事から
6. 上記以外のインターネット検索から
7. 身近な人のがん経験から

- 8. 担当医の言動から
- 9. 自身や身近な人の医療従事者としての経験から
- 10. 周囲の人の言動から
- 11. なんとなく
- 12. その他 ()

Q6. 以下のがんと仕事に関する意見について、あなたの考えはAとBのどちらに近いですか。それぞれ最も近いものをお選びください

	Aに近い	どちらか という Aに近い	どちらと もいえな い	どちらか という Bに近い	Bに近い	
A 配慮は、本人に意向を聞いたうえで行うほうが良い	1	2	3	4	5	B 配慮は、本人に意向を聞かずに、意向を察して行うほうが良い
A 治療中は、仕事に対して特別な気遣いや配慮をしたほうが良い	1	2	3	4	5	B 治療中も、仕事に対してなるべく普段どおりに接したほうが良い
A がんになったら、治療に専念したほうが良い	1	2	3	4	5	B がんになっても、治療と仕事を両立したほうが良い
A 仕事に支障が出ないところまで治療してから職場復帰したほうが良い	1	2	3	4	5	B 仕事に支障が出る場合も、職場復帰してできる範囲で働けば良い
A がん罹患したら、そのことを仕事関係者になるべく報告したほうが良い	1	2	3	4	5	B がん罹患したら、そのことを仕事関係者になるべく報告しないほうが良い
A いまの日本はがん患者やがん経験者が働きやすい社会だ	1	2	3	4	5	B いまの日本はがん患者やがん経験者が働きづらい社会だ

Q7. 以下のそれぞれのことが、あなたにはどの程度ありますか？

「常にある」を7、「全くない」を1とした場合に、最も近い番号をお選びください。

	全く ない			どちら ともい えない			常に ある
人の属性（性別、年齢、病歴など）をもとに、先入観や固定観念で決めつけることがある	1	2	3	4	5	6	7
相手の一部の特徴に目がいき、全体の印象がそれに引きずられてしまうことがある	1	2	3	4	5	6	7
「私は大丈夫」と、自分に都合のいいように思い込んでしまうことがある	1	2	3	4	5	6	7
自分に都合のいい情報ばかりに目がいつってしまうことがある	1	2	3	4	5	6	7
権威ある人の言うことは、間違いなしと思ってしまうことがある	1	2	3	4	5	6	7
周りと同じように行動しようとしてしまうことがある	1	2	3	4	5	6	7
過去を美化し、今を否定してしまうことがある	1	2	3	4	5	6	7
これまで費やした時間や労力を考えてしまい、やめたほうがいいことでもやめられなくなることがある	1	2	3	4	5	6	7
自分の「属性（性別、年齢、病歴など）」に対する否定的な固定観念が呪縛となることがある (私は、〇〇だから無理)	1	2	3	4	5	6	7
能力があるにもかかわらず、自分を過小評価してしまうことがある	1	2	3	4	5	6	7

Q8. 「がんの治療と仕事の両立」について、ご意見、アドバイスがあれば自由にご記入ください。

(自由記入)

Q9. 「がんの治療と仕事を両立しているがん経験者」に、聞いてみたいことがあればご記入ください（聞いてみたいけれど、直接本人には確認しにくいこと等）。

(自由記入)

あなた自身のことをお伺いします

Q10. あなたの性別をお選びください

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 答えたくない

Q11. あなたの年齢をご記入ください

歳

Q12. あなたが居住している都道府県をお答えください

1. 北海道
2. 青森県
3. 岩手県
4. 宮城県
5. 秋田県
6. 山形県
7. 福島県
8. 茨城県
9. 栃木県
10. 群馬県
11. 埼玉県
12. 千葉県
13. 東京都
14. 神奈川県
15. 新潟県
16. 富山県
17. 石川県
18. 福井県
19. 山梨県
20. 長野県
21. 岐阜県
22. 静岡県
23. 愛知県
24. 三重県
25. 滋賀県
26. 京都府

- 27.大阪府
- 28.兵庫県
- 29.奈良県
- 30.和歌山県
- 31.鳥取県
- 32.島根県
- 33.岡山県
- 34.広島県
- 35.山口県
- 36.徳島県
- 37.香川県
- 38.愛媛県
- 39.高知県
- 40.福岡県
- 41.佐賀県
- 42.長崎県
- 43.熊本県
- 44.大分県
- 45.宮崎県
- 46.鹿児島県
- 47.沖縄県

Q13. あなたの最終学歴をお選びください（中退の時はその前の学歴をお選びください）

1. 中学
2. 高校
3. 専門学校・専修学校
4. 高専・短大
5. 大学・大学院
6. その他（ ）
7. 答えたくない

現在の、あなたの働き方についてお伺いします

Q14. 現在の、あなたの就業形態をお選びください。

1. 正社員（役員を含む）・正職員
2. 契約社員
3. 嘱託社員
4. 派遣社員

5. パート・アルバイト
6. 自営・個人事業主→Q15もしくはQ16へ
7. その他（ ）→Q15もしくはQ16へ
8. 働いていない→Q15もしくはQ16へ

SQ14-1. 【Q14で「1」～「5」と回答した方にお伺いします。】

勤務先の従業員・職員数は合計でどれくらいですか。

1. 10人未満
2. 10～50人未満
3. 50～100人未満
4. 100～300人未満
5. 300～1000人未満
6. 1000人以上
7. わからない

SQ14-2. 【Q14で「1」～「5」と回答した方にお伺いします。】

勤務先の業種をお選びください。

1. 建設業、鉱業、採石・砂利採取業
2. 製造業
3. 電気・ガス・熱供給・水道業
4. 情報通信業
5. 運輸・郵便業
6. 卸売・小売業
7. 金融・保険業
8. 不動産・物品賃貸業
9. 学術研究、専門・技術サービス業
10. 宿泊・飲食サービス業
11. 生活関連サービス・娯楽業
12. 教育・学習支援業
13. 医療・福祉
14. 複合サービス事業
15. サービス業（他に分類されないもの）
16. 公務
17. その他（ ）

SQ14-3. 【Q14で「1」～「5」と回答した方にお伺いします。】

あなたの職種をお選びください。

1. 経営・管理職

2. 専門・技術職
3. 事務職
4. 営業職
5. 販売職
6. サービス職
7. 生産工程従事者
8. 輸送・機械運転従事者
9. 建設・採掘従事者
10. 運搬・清掃・包装等従事者
11. その他（ ）

SQ14-4. 【Q14で「1」～「5」と回答した方にお伺いします。】

あなたの役職をお選びください。

1. 代表・役員
2. 本部長・部長クラス
3. 課長クラス
4. 課長代理・係長・主任クラス
5. 役職なし

「アンコンシャスバイアス」についてお伺いします

「アンコンシャスバイアス」(unconscious bias)とは、「無意識の偏ったモノの見方」のこととで、日本語では「無意識の思い込み」「無意識バイアス」「無意識の偏見」などとも表現されています。

Q15. 【Q1(2)で「1」～「15」と回答し、かつQ2で「1」～「15」と回答した方にお伺いします。

※それ以外の方はQ16へ】

身近な人から、がんと診断されたことについて報告や相談を受けた時に、「アンコンシャスバイアス」について知っていましたか。

1. 全く知らなかった
2. 言葉を聞いたことがあった
3. 内容まで理解していた→Q17へ

Q16. 現在、「アンコンシャスバイアス」について知っていますか。

1. 全く知らない
2. 言葉を聞いたことはある
3. 内容まで理解している

Q17. 【Q15で「3」もしくはQ16で「2」「3」と回答した方にお伺いします】

「アンコンシャスバイアス」をどのようなきっかけで知りましたか。以下の中から該当するものをお選びください

